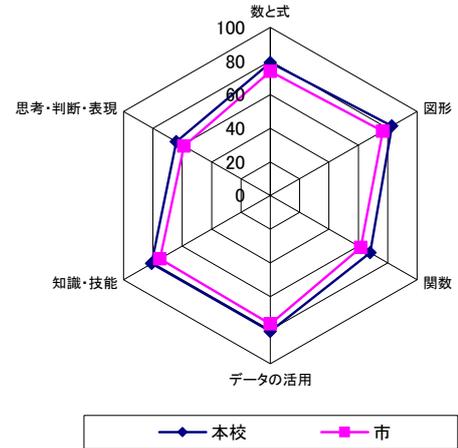


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	79.0	73.8	71.4
	図形	82.9	76.7	67.9
	関数	68.0	61.6	52.2
	データの活用	80.7	76.4	65.4
観点別	知識・技能	80.9	75.2	69.9
	思考・判断・表現	64.0	58.9	48.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は79.0%で、市平均より5.2ポイント高かった。 ○ほぼ全ての問題で市平均を上回っていて、特に基本的な計算問題の正答率が高い。 ●市平均を下回ったのは平方根の大小について答える問題である。	・基礎基本を定着させる指導が効果を上げているので今後も続けていく。 ・平方根という3年で学習する新たな数の意味についてペア学習や、繰り返し学習を行うことで実感をともなった理解ができるように指導していく。
図形	平均正答率は82.9%で、市平均より6.2ポイント高かった。 ○全ての問題で市平均を上回っている。 ●多角形の内角・外角の和について理解し、角の大きさを求める問題で正答率が市平均と差があまりなかった。	・証明などでペア学習を活用して基礎基本だけでなく、思考する力もつける学習が効果をあげているので今後も続けていく。 ・2年生の角の大きさを求める学習で多様な考えから答えを導き出すことができるようにグループで学び合うなどしてさらに学力を伸ばしていきたい。
関数	平均正答率は68.0%で、市平均より6.4ポイント高かった。 ○全ての問題で市平均を上回っている。 ●反比例の問題、グラフと図形を関連させた応用問題、グラフから読み取り考える問題について市平均との差があまりなかった。	・基礎基本を定着させる指導が効果を上げているので今後も続けていく。 ・1年生で学習した内容について繰り返し復習することと、グラフが何を表している、それをどう活用して問題を解いていくのかグループで学び合うなどして学力を定着させていきたい。
データの活用	平均正答率は80.7%で、市平均より4.3ポイント高かった。 ○全ての問題で市平均を上回っている。 ●ヒストグラムの特徴を読み取り、数学的に説明する問題で市平均との差があまりなかった。	・基礎基本を定着させる指導が効果を上げているので今後も続けていく。 ・データから何を読み取ることができるのか考える時間を十分に確保し、それについてグループで検討することで数学的に説明する力をつけていきたい。